

別紙標準様式(第7条関係)

会 議 録

会議の名称	令和8年度第1回枚方市立禁野小学校の新しい学校づくり協議会
開催日時	令和8年5月23日(土) 10時から11時00分まで
開催場所	禁野小学校新校舎 建設現場(校舎内 1F 会議室)
出席者	(会長) 船越委員 (委員) 森(崇)委員、森田委員、永山委員、倉田委員、津熊委員、森(清)委員 (事務局:新しい学校推進課) 杉谷課長、徳田課長代理、多田係長、木村主任、岩名主任 (事務局:施設整備課) 里課長、澤田代理、早崎主査、角野主査 (前田組・浦辺設計共同企業体) (前田組) 尾崎設計部専任部長、杉本工事部工事課長、馬場工事部 所長 (浦辺設計) -
欠席者	なし
案 件 名	1. 令和8年度 枚方市立禁野小学校の新しい学校づくり協議会について ・会長、副会長の選出について ・協議会スケジュール等について 2. 禁野小学校新校舎建築工事について ・工事進捗の報告について 3. 禁野小学校新校舎移転に向けたスケジュール 4. その他
提出された資料等の名称	次第 (資料1) 令和8年度 枚方市立禁野小学校の新しい学校づくり協議会 (資料2) 枚方市立禁野小学校の新しい学校づくり協議会設置規約 (資料3) 5月・6月度月間工程表 (資料4) 禁野小学校新校舎移転に向けたスケジュールについて
協議・決定・報告事項	1. 会長は禁野小学校PTA船越会長に、副会長は禁野校区コミュニティ協議会森会長に決定した。 2. 禁野小学校新校舎建築工事について工事進捗を確認した。 3. 禁野小学校新校舎移転に向けたスケジュールを確認した。
会議の公開、非公開の別及び非公開の理由	非公開 (会議場所が建設工事中の新校舎での開催となるため。)
会議録等の公表、非公表の別及び非公表の理由	公表
傍聴者の数	
所管部署(事務局)	総合教育部 新しい学校推進課

協 議 内 容

以下、(事)事務局(施)施設整備課(委)委員(前)前田組(会)協議会会長(副)協議会副会長を示す。

案件1. 令和8年度枚方市立禁野小学校の新しい学校づくり協議会について

<事務局の説明>

(資料1, 2の要約を説明)

<質疑・意見など>

(事) これまで本協議会の会長はPTA会長に、副会長は禁野校区コミュニティ協議会会長にお願いしてきたところである。例年同様の体制でよいか。

(委) 異議なし。

(事) では、会長は禁野小学校PTAの船越会長に、副会長は禁野校区コミュニティ協議会森会長に決定する。

案件2. 禁野小学校新校舎建築工事について

・工事進捗の報告について

<事務局の説明>

資料3

(施) 本事業については令和4年6月の契約以降、令和4年・5年度に校舎を解体し、基本設計・実施設計を進めてきた。

令和6年7月から新校舎の建設工事が始まり、順調に工事を進め、令和8年3月には校舎の中はできあがり、今は外構工事を行っている。

施工者・設計者、地域の方々の協力もあって、順調に作業を進めている。

(前) 校舎工事は、令和8年3月末に完成している。

今は、校舎北側のグラウンド、校舎中央のきんやっこ広場、正門側のアプローチ、敷地西側の法面の改修工事を重点的に行っている。

グラウンドは、表層の土はまだ入っていないが砂利は施工済みで、防球ネットも施工済みである。一部スイセンの移植が残っているが、法面の防草シートもおおむね施工が完了している。

6月下旬頃には、各種完了検査を受け、7月の完成を目指しているところである。

<質疑・意見など>

(委) 屋上には自由に上がれるのか。屋上に手摺り・フェンスは設置されているのか。

(前) 階段に鍵付きの扉があり施錠されており、児童は上がれないようになっている。また、手摺り・フェンスについては設置していない。

(委) 児童は、新しい校舎なのでいろいろ興味も湧くため、屋上に絶対に上がれないような対応が必要ではないか。

(委) 各学校において屋上に行けないように管理運営しているため、一部の学校を除き市内小学校では基本的に手摺り・フェンスは設置していない。

なお、屋上にある電気や機械工作物に係る専門技術者のみが屋上に上がることを想定している。その専門技術者は各自で安全帯や転落防止対策をすることとなる。

(副) 夜間のセキュリティはどうなっているのか。

(事) 機械警備を導入して人感センサーで警備し、警備会社で対応していく。

施設管理人がいる時間帯は、その者が管理している。

(副) 児童が興味本位で屋上に上がることも多分に考えられるので、危険な箇所には立ち入ら

ないよう児童に指導するとともに、鍵の施錠忘れがないように管理・運営を徹底してもらいたい。

(事) 施設管理人と共有しながら、運用方法について確認していく。

(委) グラウンドの広さはどうなっているか。

(施) 旧高陵小よりプールがなくなっている分、数値的には約1割近く広がっている。直線は斜めに80メートル、トラックは1周150メートルとなっている。

(副) グラウンドの外周の広さはどうか。

(施) トラック150メートルの外側にテントが張れる広さは確保している。

案件3. 禁野小学校新校舎移転に向けたスケジュールについて

<事務局の説明>

資料4

(事) 新校舎の工事完了日については、当初の予定のとおり7月下旬ごろを予定している。

同じく工事完了後の7月末には、新たに調達する児童の机や椅子などの備品関係についても納品を予定している。

引越しに関しては、8月3日から8月6日までの4日間で時節柄8月7日を予備日としている。

また、校区コミュニティ協議会やPTAの物品についても、引越委託事業者にて運搬予定で、引越日までに梱包作業と引越しに向けた準備をお願いする。

なお、引越作業を進めていくにあたり、不要な物品も出てくるかと思われる。

不要物品については、教育委員会で処分するため、そのまま学校に残置しておいてもらうことで対応をお願いする。

梱包の考え方は、細かな物品については箱詰め、箱詰めが困難な大きな物品はそのままの移動となる。

また、引越する物品には、新校舎の配置場所等を記入し、箱等に貼付けするラベルシールを用意する。

ダンボール箱や緩衝材、引越ラベルシールについては、後日提供する。

<質疑・意見など>

(委) 引越しの日が、8月3日から8月6日までとの説明だが、ものすごく暑い時期である。どのような考えでこの日程となったのか。

(事) 引越物の対象は、大半は学校備品が占める。

学校は1学期で運営中であり、どうしても作業の中心が夏休みに入ってからになる。

また、校舎の受け渡しは7月下旬となっており、引越については、7月下旬から開校する8月25日までの間でやり切らないといけない。

こうしたことも踏まえ、この8月3日から6日が最適と考え設定したものである。

(副) 引越委託業者が運んでくれるのか。

(事) 梱包しておいてもらえば、引越委託業者が運搬する。引越後の開梱作業はコミュニティの都合に合わせて作業してもらえればと考える。

(副) 用意されたラベルシールに図面の部屋番号を書いておけば運んでくれるとのことだが、部屋の中の位置まで細かく指定できるのか。

(事) 部屋の中で細かな指定もできる。

例えば1階の1番の部屋の何番(棚の前や部屋の隅等)のところに置いてもらう想定である。

(委) 旧高陵小校区は1回引越しを経験済みで、旧中宮北小校区は未経験であるため、早めの準備をしたい。

段ボール、設置場所の位置図を早急に提供してほしい。

(委) 段ボールは大中小あるのか。

(事) 大中2種類である。

(委) 段ボール大は女性でも持てるのか。

(事) 基本、大きい備品についてはダンボールを使用せず、そのまま運搬が可能である。

書籍など重くなる物品については、小さいダンボールを使用するか、あるいは、詰める量を減らし、余白の空間に緩衝材を入れて梱包する方法もある。

(委) 旧中宮北校区は、防災倉庫と備品倉庫とがある。

地域の方が、引越で運ぶことなどは何もしなくていいのか。

(事) 防災倉庫の中身は引越委託業者で運ぶため、地域の方が運ぶ必要はない。なお、防災倉庫は現在、屋外にあるが、新校舎では校舎内の防災備蓄倉庫への搬入を想定している。

(委) ここで話すことではないかもしれないが、現校舎にはテントや防災備蓄品を置いており、体育館等を活用させてもらえないか。

(委) 地域行事等を踏まえ、必要性などから選別はする。

(事) 現校舎の地階の倉庫については、跡地活用の担当部署との調整になる。

(委) 地域の防災拠点として体育館を残す方向で検討されている。防災倉庫の中身をどこに持って行って、どこに置いていくかについては、今後、跡地活用の部署と調整させていただく。また、体育館横にある地域で寄附した時計台もあわせて検討をいただきたい。

(副) 屋外の倉庫の引越物は、そのまま仕分けして置いておいていいのか。

残すもの、持って行くものを、どこか別のところに集約するとなると大変になる。

(事) 基本的にそのまま屋外の倉庫においた状態でラベルシールを貼ってもらえば対応する。

(委) 段ボール大中小に関し、7割程度で箱詰めすることも可能とのことだが、逆にいっぱいにすることは可能か。

(事) できる限り詰めてもらうことも可能である。いずれも、引越委託業者で運搬する。

(委) 設置場所の地図はいつもらえるのか。

(事) 提供する準備は整っているので、段ボールの納品などと併せて日程調整していきたい。

(委) 廃棄するものはそのまま残置してもよいのか。

廃棄物と書かなくてもよいのか。

(事) そのまま存置し、廃棄物との表示は不要と考えている。

ただし、新校舎へ引っ越ししないが、廃棄もしない物品がある場合は、現校舎からの引揚げをお願いする。

(委) 基本的に引揚げ作業は、いつまでが期限になるのか。

(事) 7月末をめどにお願いしたい。

もし、期限までの引き上げが困難な場合は、ご一報いただきたい。

案件4. その他

<事務局の説明>

(事) 新校舎移転に伴う通学路について、昨年度にワーキングチームを立ち上げ、新校舎までの通学ルート案を提案いただいた。

提案された通学ルートについては、UR都市機構の私有地を通行することから、現在先方と協議調整を進めているところで、時間を要している状況である。

今後UR都市機構との調整を終えたら、改めて本協議会とワーキングチームのメンバーへ報告する。

< 次回の日程及び案件 >

- ・開催日時：令和8年7月18日（土）10時～
- ・開催場所：禁野小学校新校舎 建設現場（校舎内 1F 会議室）
- ・案件：「新校舎建築工事について」「通学路について」等を予定